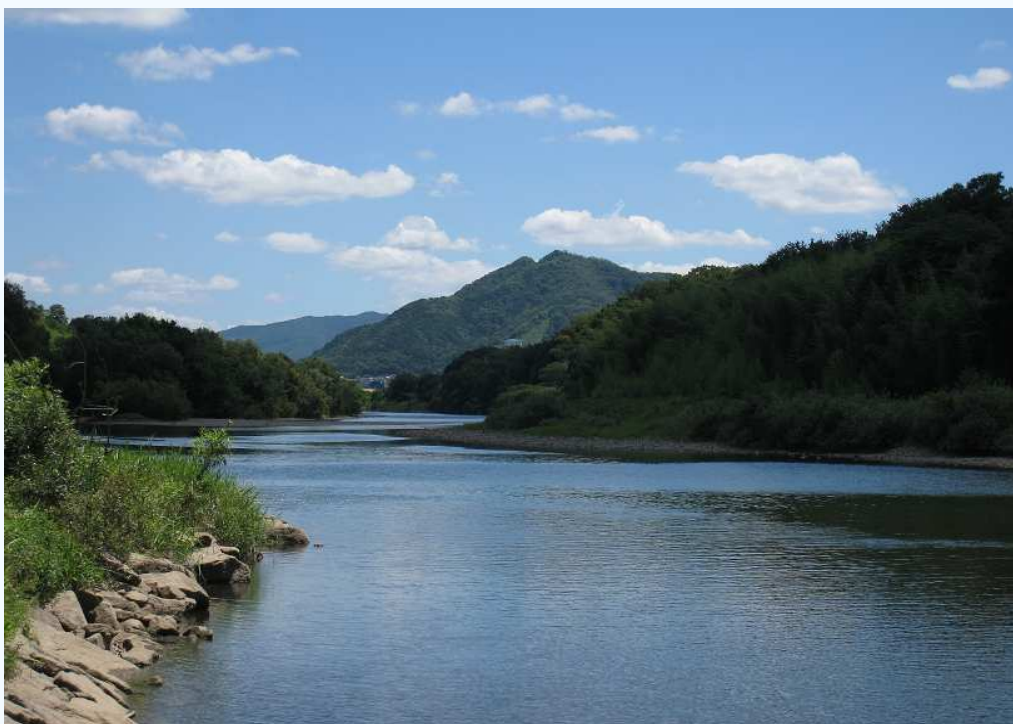


2013年版



2014年12月

日東精工株式会社



「私達は、環境にやさしい企業を築くため、
みんなで努力して行動します」

目 次

ご挨拶	・ ・ ・ ・ ・	2
会社概要	・ ・ ・ ・ ・	3
環境方針	・ ・ ・ ・ ・	4
環境管理体制	・ ・ ・ ・ ・	5
環境目的目標	・ ・ ・ ・ ・	6
環境目標実績	・ ・ ・ ・ ・	7
環境活動	・ ・ ・ ・ ・	8
環境コミュニケーション	・ ・ ・ ・ ・	10
環境管理コスト	・ ・ ・ ・ ・	11
環境品質保証	・ ・ ・ ・ ・	12
省エネルギー活動	・ ・ ・ ・ ・	13
水質汚濁物質	・ ・ ・ ・ ・	14
廃棄物量・リサイクル率	・ ・ ・ ・ ・	15

報告書の対象範囲

1. 報告書の対象範囲は本社工場、八田工場、城山工場、制御システム工場です。
2. 報告期間は、2013年1月1日～2013年12月31日です。
3. 報告対象は、環境分野です。

表紙:「由良川」
(綾部市位田町)

ごあいさつ

「日東精工㈱環境報告書2013年度」を発行するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

本年は、大型台風をはじめ、異常気象が頻発し、各地において甚大な被害が生じております。地球温暖化の影響が顕著に表れ、地球温暖化対策をより一層進めていかなければなりません。東日本大震災を契機としたエネルギー問題、産業廃棄物の問題など取組む課題は蓄積しております。

当社の二酸化炭素の削減計画は、原単位で1 %ずつ削減する目標で計画を進めています。環境配慮行動を促進する仕組みづくりを実践し、環境負荷低減に貢献していきます。

今後も企業の責任として、環境対応商品の開発、並びに、省資源、省エネルギーで 『モノづくり』を行い、真のグローバル化を目指し、より一層優れた品質を保ちながら製品の提供に努めてまいります。

2013年の環境報告書では、当社が実践した環境貢献の代表的な事例を中心に紹介しています。私どもの日ごろの事業活動の一端のご理解と今後ともみなさまのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2013年12月吉日



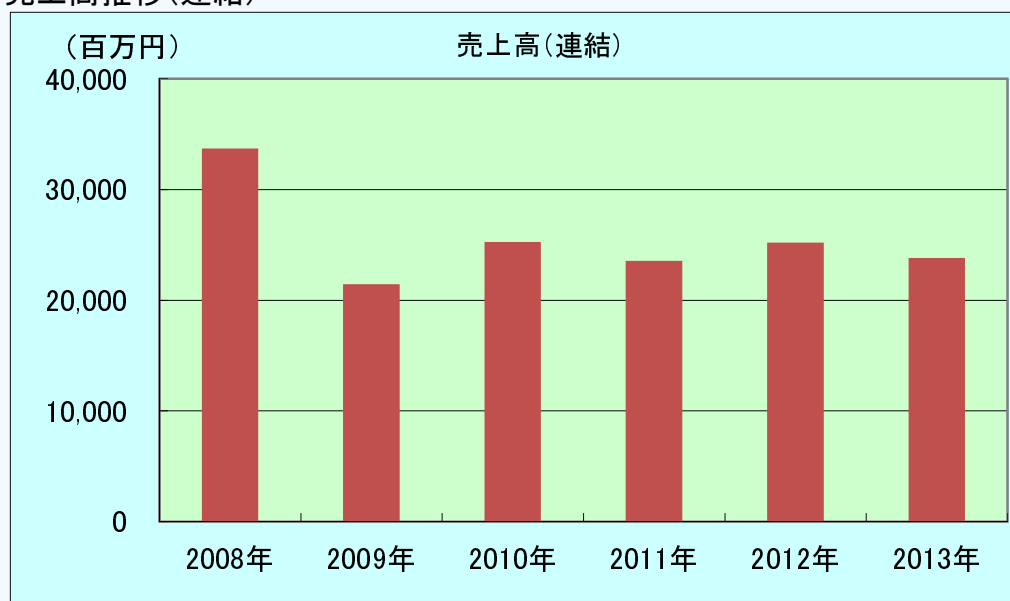
代表取締役社長
材木 正己

会社概要

(2013年12月31日現在)

社名	日東精工株式会社 NITTO SEIKO CO.,LTD
所在地	本社／623-0054京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
代表者	代表取締役社長 材木 正己
設立	1938年2月25日
資本金	3,522百万円
従業員数	587名
主要生産品目	ねじ類、特殊冷間圧造部品、ピン及びリベット 自動ねじ締め機、自動組立機、産業用ロボット、ドライバ 各種流量計、LPG充填装置、データロガー 地盤調査機、検査選別装置

売上高推移(連結)



国内拠点



環 境 方 針

環 境 基 本 方 針

企業活動を展開する上において、環境保全を最重点とし、地域環境と地球環境を守り、社会と調和して豊かな社会の実現に貢献することを目的とします。

基 本 理 念

地域社会と共存共栄を図り、環境に対しては先手を打ち、環境にやさしい、環境に負荷を与えない取組みを実践し、社会に信頼していただける会社を築いていきます。

行 動 指 針

1. 法的要求事項及び関係するその他の要求事項を遵守し、汚染予防に努めます。
2. 省エネルギー、省資源に努めます。
3. 廃棄物の減量化とリサイクルの推進に努めます。
4. 地球環境に影響を与える物質の削減に努めます。
5. 商品・サービスの提供にあたっては、環境影響に十分配慮します。
6. 環境意識の向上を図り、全員で取組みます。
7. 地域との共栄を図り、社会への貢献と信頼を得るよう努めます。

社 長 コ ミ ッ ト メ ン ト

当社は事業活動として、工業用ファスナー・自動組立機械・計測制御機器等の製造販売を行い、社会に貢献していきます。その事業活動を行うにあたり、環境保全への取組みを企業経営の最優先事項の一つと位置づけ

「私達は、環境にやさしい企業を築くため、
みんなで努力して行動します」

をスローガンに、経営層をはじめ全従業員が地域環境と地球環境を念頭におき、地球温暖化防止、環境負荷と環境リスクの低減に努めます。

1. 事業活動、製品について環境影響評価に基づき、環境管理活動を技術的・経済的に可能な範囲で、全員で取組み、環境目的および環境目標を設定、推進し、汚染の予防と継続的な改善・向上に努めます。
2. 環境保全に関する法令と、当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 地域との共生を図り地域への貢献と信頼を得るよう努力します。
4. 環境方針は掲示し、全従業員と組織で働く全ての人々に環境カードを配布し、周知徹底を図ります。

この環境方針は、社内外に公表します。

2014年 1月 1日
代表取締役社長 材木 正己

ISO14001認証登録経過

2000年5月 本社工場・八田工場ISO14001:1996認証登録

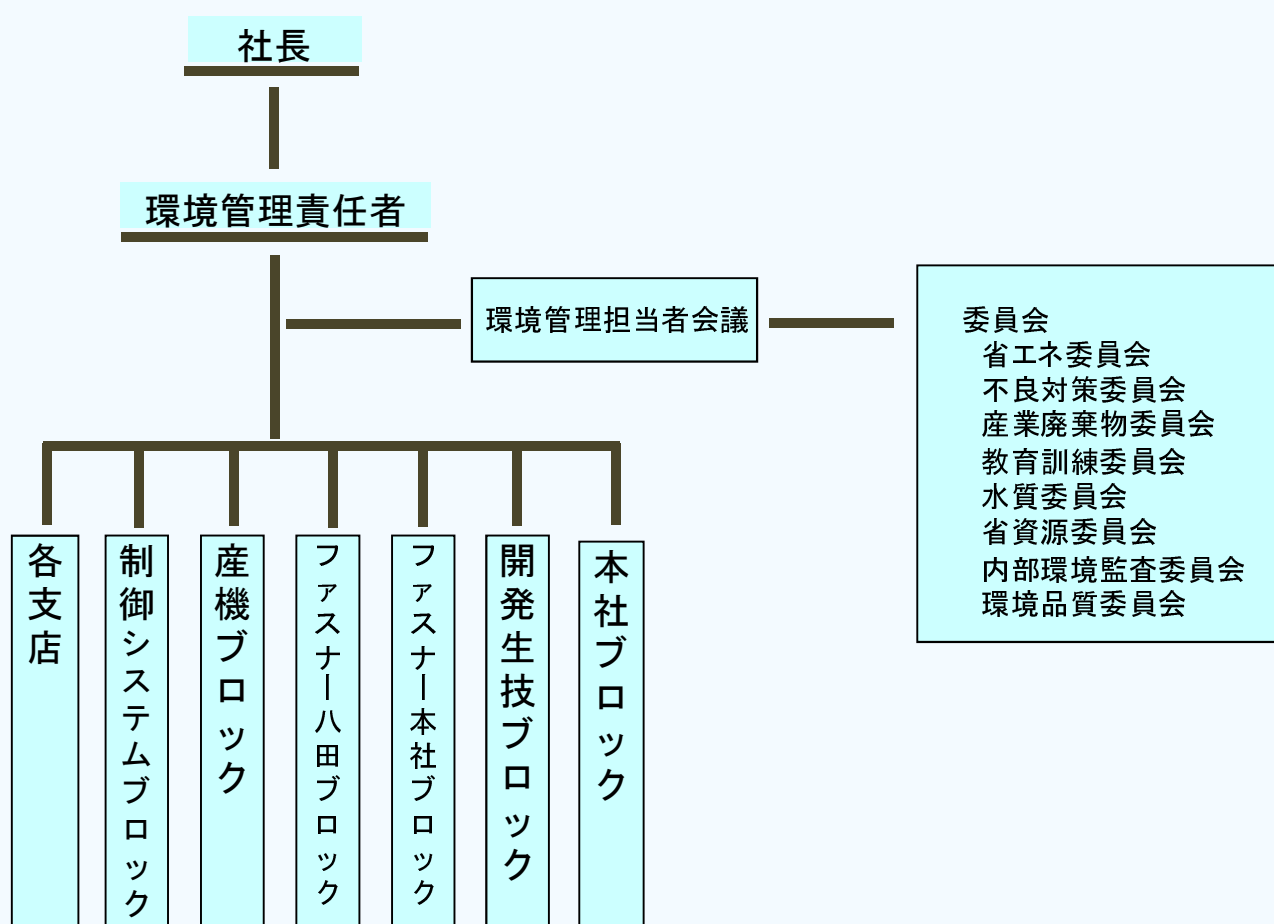
2005年5月 本社工場・八田工場ISO14001:2004移行登録

2008年7月 城山工場・制御システム工場ISO14001認証登録

城山工場と制御システム工場の認証取得により、全ての工場において環境管理システムを推進する運びとなりました。

環境管理体制

社長以下環境管理責任者のもと、各部門において、環境管理活動を展開しています。また全社の委員会として、環境管理担当者会議、専門委員会として各推進委員会を設置し、目的目標の達成にむけた活動を行い、各部門で展開しています。



環境目的目標

日東精工 環境目的

2014年 1月 1日制定

日東精工株式会社の環境目的・目標を以下に定める。

日東精工株式会社
代表取締役社長 材木 正己

環境目的の策定	
環境方針に基づき、2012年から3年間の環境目的を策定する	
環境目的	
1. 二酸化炭素排出量の削減 ・二酸化炭素排出量	目標 2014年に2011年比 3%削減する 二酸化炭素を237t削減する 内訳 ① 電力消費量を62万kWh削減する ② 灯油消費量を2.0kl削減する ③ LPG消費量を2.4t削減する ④ 廃棄物を54t削減する ⑤ 廃アルカリを50%リサイクルする
2. 環境リスクの低減 ・環境リスク要因の削除、改善を図る	① 亜鉛排水濃度を管理する ② 地下汚染防止対策を推進する
3. 環境にやさしい業務を推進する	① 職場環境の整備と美化の推進 ② 3M(ムリ、ムダ、ムラ)の排除を行う ③ 地域環境に配慮した生産活動を行う
2014年 環境目標	
環境目的に基づき 2014年 の環境目標を定める	
1. 廃棄・終品不良率、クレーム(社内外)件数を前年度比30%削減する	(1) 廃棄重量を30%以上削減する (2) 終品不良を30%以上削減する
2. 廃棄物のリサイクル化を進める	(1) 廃アルカリを再利用する (2) 廃棄物のゼロエミッションを目指す
3. 環境リスクの低減	(1) 亜鉛排水濃度2mg/l以下を維持する (2) 薬品、油などの漏洩防止、オイルパン設置、漏れ対策を実施する
4. 環境にやさしい業務を推進する	(1) 省エネ、省資源等環境負荷のより少ない生産活動へ改善を進める (2) 工場の美化、不要物の撤去、廃棄物の削減と分別の徹底を図る (3) 3M(ムリ、ムダ、ムラ)の排除を行う (4) 地域や住民に配慮した作業を行う



環境目標と実績

環境目的	2013年環境目標	2013年活動実績
二酸化炭素 排出量の削減	温暖化物質の削減 (2011年度比3%削減) CO ₂ 排出削減目標：79 t 総量目標：7,729 t	総量実績6,970 t で目標達成
	電力の削減 削減目標：21万kWh 総量目標：1,556万kWh	総量実績1,345万kWhで目標達成
	灯油の削減 削減目標：0.7kℓ 総量目標：363kℓ	総量実績337kℓで目標達成
	LPGの削減 削減目標：0.8 t 総量目標：296 t	総量実績331 t で目標未達
環境リスクの 低減	亜鉛排水濃度規制 2mg/ℓ（自主管理基準値）を遵守する。	国の基準値を超過することはありませんでしたが、自主基準値を超えることが17件発生しました。濾過塔稼働や排水処理性能を高め、安定した排水処理を行っています。
	地下汚染防止対策を推進する。	亜鉛鍍金新設ライン装置の移設に伴う工事においても、盤面工事においても地下浸透対策を施し、装置には塩ビ受けを設置しました。
環境にやさしい 業務を推進する	3M（ムリ、ムダ、ムラ）の排除を行う。	生産における不良削減に取り組み、エネルギー消費の抑え環境にやさしい業務となるよう努めました。
	地域環境・職場環境の整備と美化の推進	会社周辺の清掃作業や側溝清掃を実施しました。
ASR審査更新	認証機関をJQAからASRに移行	重大な不適合 0件 2014年まで更新

環境活動

環境活動

外部監査

4月に更新審査を受審し、不適合はありませんでした。

内部監査

10月に内部環境監査を実施しました。

43の部門・ブロック・各委員会を内部監査による是正を行い、システムの構築を図りました。

環境教育

環境教育実施項目

- ・新入社員教育
- ・一般教育
- ・内部環境監査員教育
- ・管理監督者教育
- ・特定業務従事者教育

防災訓練

秋の火災予防週間に合わせて火災訓練を実施しました。



環 境 法 遵 守

法に定められた事項は全て遵守しています。

環境設備	水質及び大気に係る特定施設の届出を行うとともに、地下浸透防止など環境に配慮した設備導入、維持管理に努めています。
環境測定	大気、水質、騒音、振動測定を定期に実施しています。全て京都府条例基準を遵守しています。
報告書	エネルギー指定工場、産業廃棄物年次報告、PRTR年次報告、京都府地球温暖化対策条例年次報告など全て届け出を行っています。
廃棄物	一般廃棄物・産業廃棄物は全て適正処理を行っています。

環 境 リ ス ク

温暖化物質削減への対応

水銀灯及び蛍光灯を、省エネ型照明器具(LED)への更新を進めています。

工場排水

排水処理場における濾過塔の本格稼働により、亜鉛の排水基準及び自主基準値を遵守してまいります。

緊急時対応

火災や薬品の漏洩を想定し、毎年訓練を行っています。

化学物質管理

商品へ影響をする有害物の使用は全廃しました。また、使用材料、購入品からの有害物汚染がないように管理をしています。

環境リスク管理

土壌汚染・地下水汚染、騒音、大気放出などの環境基準の見直しに対応して、維持管理に努めています。

事故・苦情への対応

2013年においては環境の事故発生、苦情の発生はありません。

環境コミュニケーション

○環境報告書は、会社ホームページにて公開しています。

アドレス <http://www.nittoseiko.co.jp/>

○地域連絡会

地域との環境対応を進める目的で、自治会関係者の方々に出席いただき毎年開催しています。

○環境活動

4月に開催される綾部市みどり公社の由良川花壇展に参加しています。

6月と10月に上林地区の森林でモデルフォレスト活動として、間伐の際の伐倒作業の方法等を研修しました。

『あやべ水無月まつり』の翌朝に行われる清掃活動クリーン水無月に参加しています。

○奉仕活動

地域の清掃活動や「あやべ良さ来い」おどり、夏まつりに参加しています。

中学生や小学生を対象とした体験学習を開催しました。

小学生対象のサマースクール開講



モデルフォレスト活動



「あやべ良さ来い」おどりに参加



由良川花壇展

環境管理コスト

対象期間: 2013年 1月 1日～2013年12月31日

(単位: 千円)

	投資額	費用額	合計	主な内容
公害防止	246,092	123,693	369,785	大気汚染防止 水質汚濁防止 土壌汚染防止 騒音防止 その他の公害防止
地球環境 保全	1,320	26,005	27,325	地球温暖化防止及び省エネルギー オゾン層破壊防止 その他の地球環境保全
資源循環	0	3,583	3,583	資源の効率的利用 一般・産業廃棄物のリサイクル等 一般・産業廃棄物の処理・処分 その他の資源循環
上・下流				
管理活動	0	21,733	21,733	環境マネジメントシステムの整備、運用 環境情報の開示及び環境広告 環境負荷監視 従業員への環境教育等 事業所及事業所周辺の緑化、美化等
研究開発	2,440	6,617	9,057	環境保全に資する製品等の研究開発 製品等の製造段階における環境負荷の抑制のための研究開発 その他、物流段階や製品等の販売段階等における環境負荷の抑制のための研究開発
社会活動	0	519	519	事業所及び事業所周辺を除く自然保護、緑化、美化、景観保持等の環境改善対策 地域住民の行う環境活動に対する支援及び地域住民に対する情報提供等の各種の社会的取組
合計	249,852	182,150	432,002	

環境品質保証

環境品質保証に関する方針

基本理念

日東精工株式会社は、地球環境の環境保全を優先課題の一つとして強く認識し、企業活動のあらゆる面で環境問題に配慮して行動し、社会の発展に貢献する。生産に関する部品、材料、製造工程における地球環境への影響を配慮し、環境にやさしい製品の提供を行う。

環境品質保証に関する方針

日東精工株式会社は「顧客に対し最大の満足を提供する」をビジョンとし、事業活動に関わる環境品質保証の物質を以下のように定め使用禁止、全廃を図る。

1. 使用禁止物質

- ①カドミウム及びカドミウム化合物
- ②PBB（ポリブロモビフェニル）類及びPBDE（ポリブロモジフェニルエーテル）類
- ③PCB（ポリ塩化ビフェニル）類
- ④ポリ塩化ナフタレン類
- ⑤有機すず化合物（トリブチルスズ類・トリフェニルスズ類）
- ⑥石綿（アスベスト）
- ⑦アゾ化合物（分解によりアミンは発生する可能性があるものの、人体に持続的に触れることを前提として作られた製品の人体接触部分）
- ⑧ホルムアルデヒド
- ⑨塩化メチレン
- ⑩HCFC（代替フロン）類
- ⑪POPs（残留性有機汚染物質）（PFOA、PFOS等）

2. 全廃物質

- ①水銀および水銀化合物
- ②PVC（ポリ塩化ビニル）及びPVC混合物
- ③PBB、PBDE以外の有機臭素化合物（臭素系難燃剤）
- ④塩素化パラフィン（塩素系難燃剤・可塑剤）
- ⑤鉛および鉛化合物
- ⑥六価クロム化合物

日東精工株式会社は上記環境管理物質に該当する物質が発生した場合、使用禁止、全廃の措置をとる。尚、環境品質保証の全廃の期限を「別紙 環境品質保証全廃・削減計画表」に記し徹底する。この環境品質保証に関する方針は全社員に周知すると共にユーザーからの要求に対して開示する。

環境品質保証システム

環境品質経営責任者をトップに環境品質保証体制を確立しています。原材料や購入品の調達においては、有害物質が含有しないように、受入検査を実施し、製造工程では、使用する薬品や補助材料、機械装置からの汚染がない仕組みを、出荷検査は、有害物質の含有がないことを保証する仕組みを確立しています。

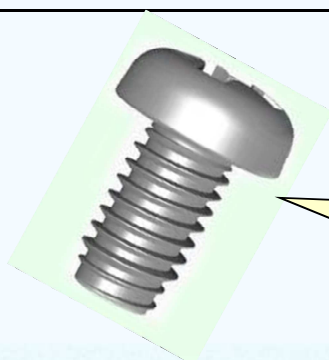
管理項目

- ・取引先との品質環境協定書の締結
- ・購入品の不使用証明書、エビデンスの入手
- ・内部環境品質監査の実施
- ・トレーサビリティの管理
- ・環境品質教育の実施
- ・不適合・是正の管理
- ・法規制及びユーザ基準の遵守

環境品質保証の対象物質

法規制及びユーザ基準に定められた含有禁止物質は使用していません。

- ・ELV・RoHS指令物質
- ・REACH規制対象物質
- ・POPs条約物質
- ・ユーザグリーン調達ガイドラインに定める物質



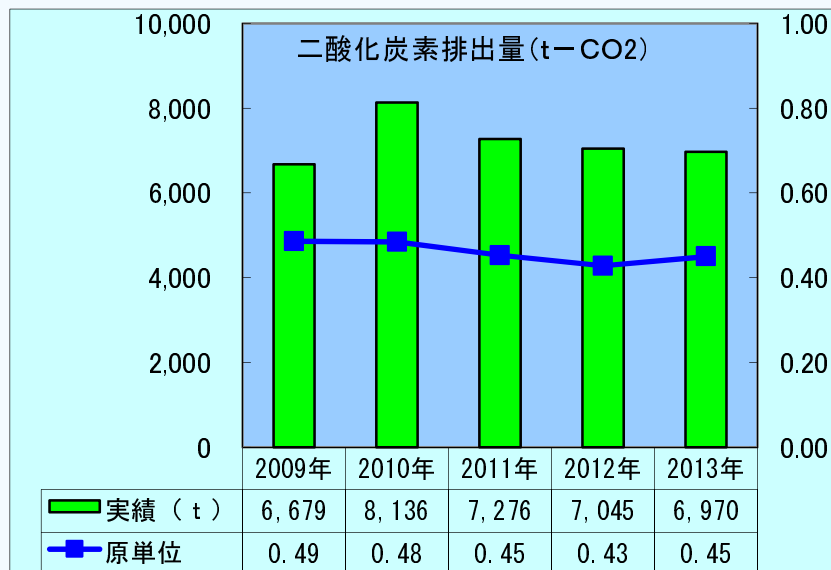
環境品質保証製品の提供

有害物質を入れない、使わない、出さないの「3ない活動」により、環境品質保証製品

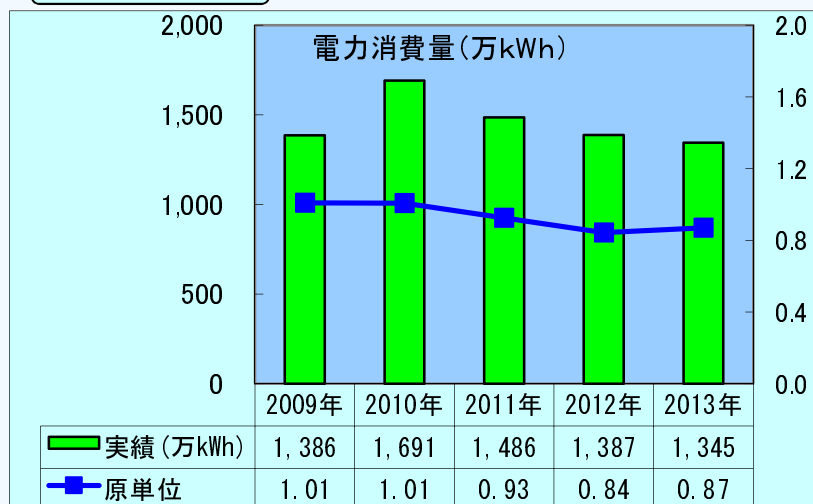
省エネルギー活動

地球温暖化物質の削減を目的として、2012年から3カ年の中期計画で、省エネルギーの推進、ムダなエネルギー消費の削減に取り組んできました。

結果として、二酸化炭素の排出量は前年度比75t-CO₂(同1.06%)の減少となりましたが、原単位については0.02ポイント悪くなりました。



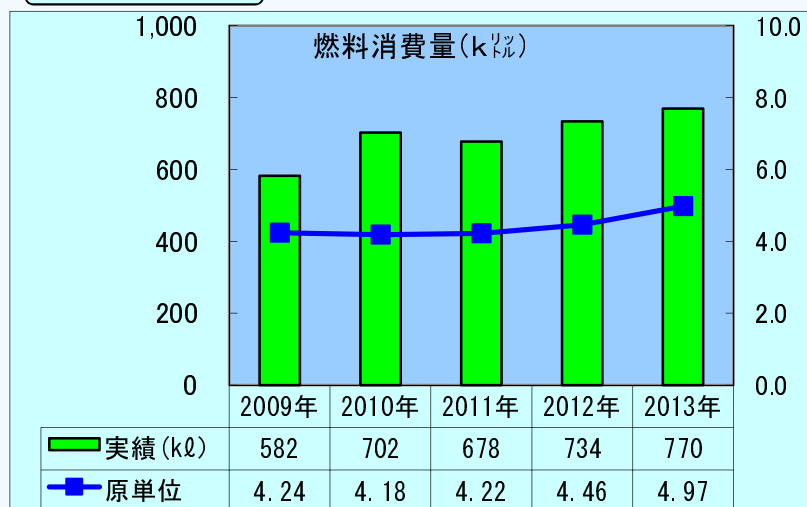
電力量の削減



2013年は、照明LED化を進め省エネタイプのコンプレッサー、空調機を導入した結果、前年比42万kWh(同3%)を減少させることができましたが、原単位としてはやや悪くなりました。

太陽光パネルを設置し、エコエネルギーとして、発電を開始しました。

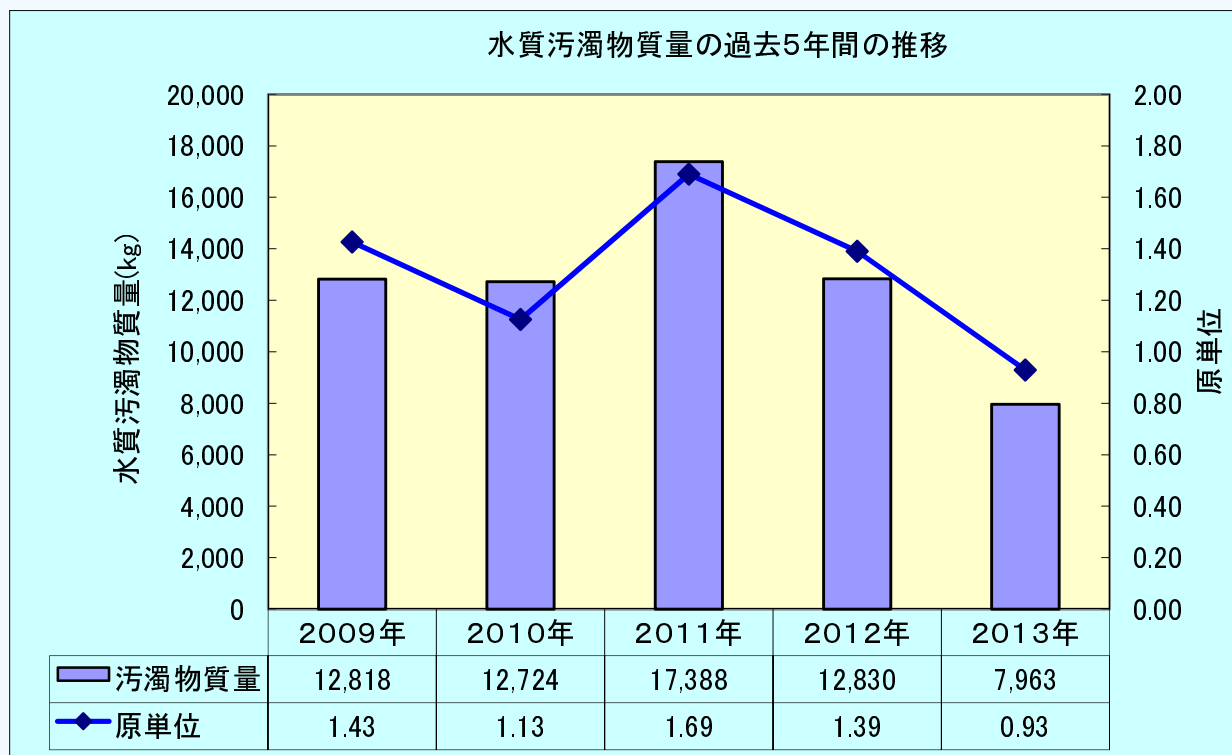
燃料の削減



製造工程に装置を導入したことで冬場の灯油使用量が多かったことが影響し、前年比前36kℓ(同4.9%)増加する結果となりました。

省エネ型空調機、空気圧縮機を導入し、燃料の削減に取り組んでいます。

水質汚濁物質質量



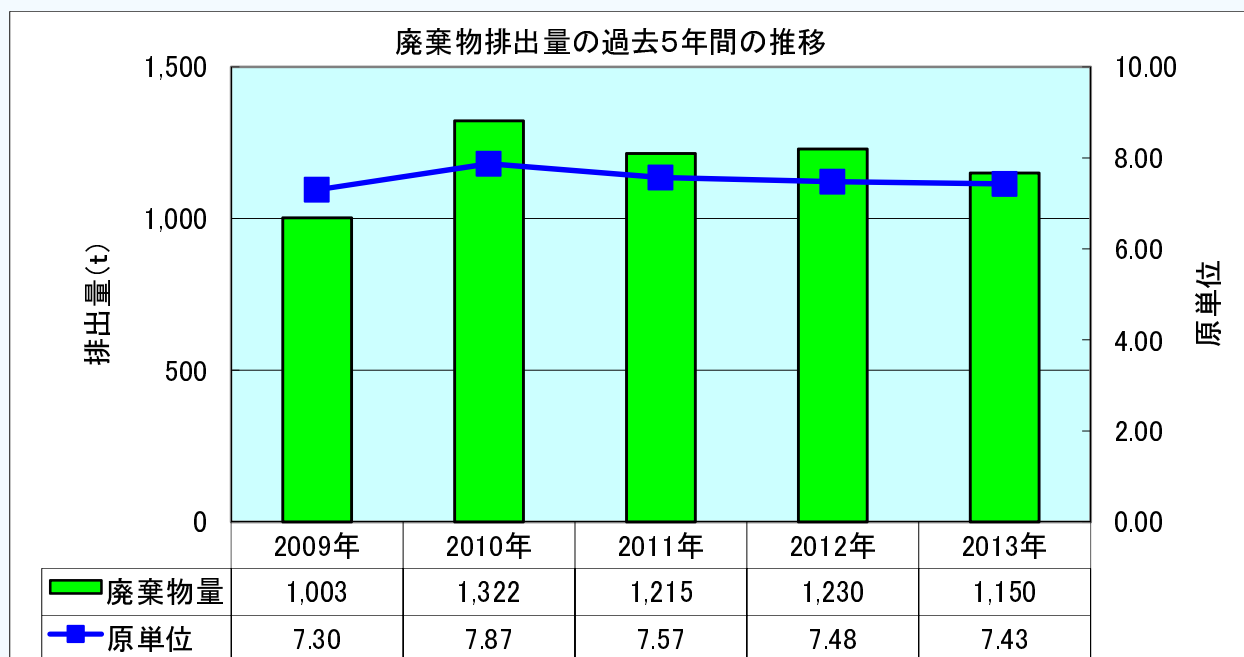
工程排水を除く生活排水の下水道への接続工事を進めたことにより、水質汚濁物質質量が大きく減少しました。また、原単位においては売上高が減少しましたが、それ以上に水質汚濁物質質量が減少したことから、0.46ポイント改善する結果となりました。

鍍金の排水処理における亜鉛成分については、2016年12月10日までの暫定排水基準の適用を受けている中で、期限後に求められる水準の対応のために現在は濾過器を加え処理対策していますが、その他の排水物質成分も含め、将来を見据えた更に精度の高い排水処理対応を準備していく必要があります。

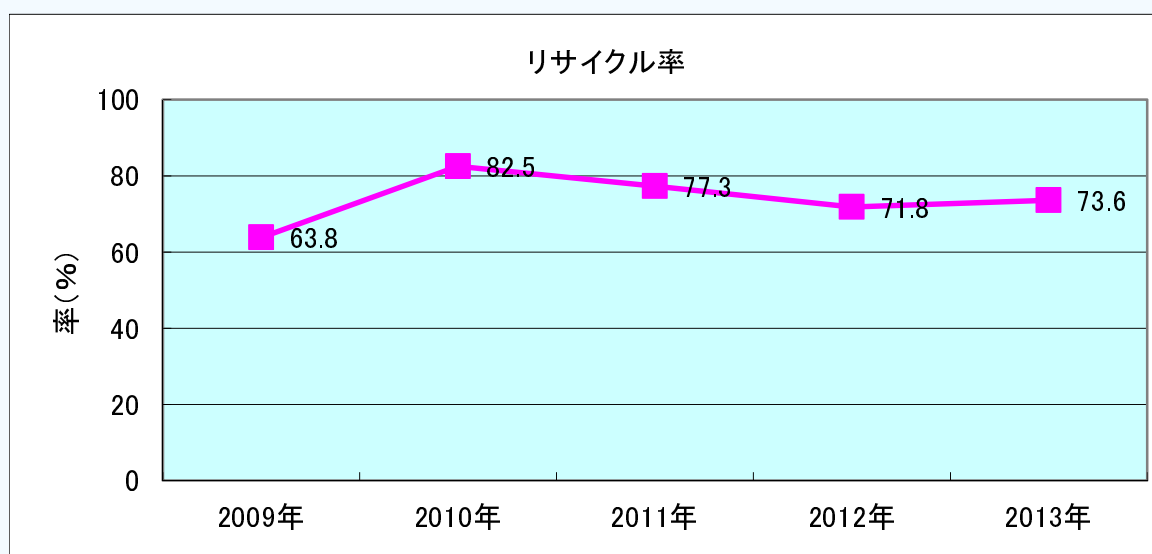
今後は精度の高い排水処理の構築と、現在の管理体制を強化し排水濃度基準の遵守を図ってまいります。

測定項目	測定値(mg/l)	
	平均値	最大値
水素イオン濃度(PH)	6.1~7.8	
生物化学的酸素要求量(BOD)	14.2	33.6
浮遊物質(SS)	3.83	8.00
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	---	<2
六価クロム	<0.01	0.01
全クロム	0.08	0.38
亜鉛	1.11	3.84
ニッケル	0.35	1.80
銅	0.02	0.21
溶解性鉄	0.52	1.96

廃棄物排出量



汚泥、廃油、廃アルカリ等の削減に取り組み、廃棄物量80t(6.5%)の削減を行いました。



工程廃棄物の削減に取り組んだ結果、リサイクル率の向上を図ることができました。

国内拠点

本社	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)42-3111
ファスナー事業部 本社工場	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)42-8020
ファスナー事業部 八田工場	〒623-0116 京都府綾部市下八田町菩提10 TEL(0773)42-3125
産機事業部 城山工場	〒623-0003 京都府綾部市城山町2 TEL(0773)43-1550
制御システム事業部	〒623-0041 京都府綾部市延町野上畑30 TEL(0773)42-3151
開発研究所	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)42-4402
海外戦略部	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)43-0290
東京支店	〒223-0052 横浜市港北区綱島東6-2-21 TEL(045)545-3313
北関東営業所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3 TEL(0276)63-8158
大阪支店	〒578-0965 東大阪市本庄西1-6-4 TEL(06)6745-8357
名古屋支店	〒465-0025 名古屋市名東区上社5-405 TEL(052)709-5061
九州出張所	〒812-0897 福岡市博多区半道橋1-6-46 TEL(092)411-1724

日東精工株式会社

ホームページ
環境報告書に関する
お問い合わせ先

<http://www.nittoseiko.co.jp/>
生産技術部生産技術課
e-mail:kankyo@nittoseiko.com